

まちの話題

ISA City Topics



市民の生命と財産を守る



4月15日、今年新たに消防団に入団した方々を対象に消防団員初任者研修が行われました。消防組織法や規則など研修を受けた後、消防本部で整列や行進、ホースの使い方など実技訓練を受けました。参加した団員は真剣に訓練をこなし、市民の生命を守る使命感に燃えているようでした。

今回の新入団員は次の方々です。(敬称略)

- 溝口 典博 (水ノ手班)
- 金丸 優 (諏訪班)
- 岩元 裕二 (諏訪班)
- 西 博文 (篠原班)
- 岡本 功 (篠原班)
- 西 弘悦 (篠原班)
- 上之原 剛 (篠原班)
- 丸山 芳夫 (篠原班)
- 森下飛雄馬 (郡山班)
- 中村健太郎 (尾之上班)
- 福元 千晴 (尾之上班)
- 帆北裕次郎 (山野自動車班)
- 丸山 泰和 (小木原班)
- 長野 隆史 (白木班)
- 上野 佑太 (崎山班)
- 川崎 哲孝 (土瀬戸班)
- 寒川 隆視 (馬場班)
- 松下 寛隆 (本城分団)
- 大塚 哲男 (徳辺分団)

中学1年生に反射タスキ贈呈



新年度初め、「新入学事故防止キャンペーン」と題し、市立中学3校の新1年生176人に、夜行反射タスキが贈られました。

これは伊佐警察署と交通安全協会が企画したもので、計画に賛同される水間病院のご協力により実現しました。

タスキを受け取った生徒は、「タスキをかけて事故の無いように登下校します。」とお礼を述べました。

拾ってつなぐバレー



県地区選抜小学生女子バレーボール「菜の花大会」で、伊佐代表「プリメイロISA」が準優勝しました。おめでとうございます。

災害支援協定



大規模な災害が発生した場合、市及び防災関係機関のみの対応では、住民の生命・財産の保護活動等に十分な対応ができないことも考えられます。そこで市は、迅速かつ広域的な応援体制を構築するため、湧水町をはじめ県境を越えた人吉・えびの市と「災害時等の相互応援に関する協定書」に調印しました。

有事が起こった場合、必要な資機材の提供をはじめ職員派遣やボランティアの斡旋、被災者への住宅提供など10項目以上の応援体制が整いました。

ボランティア作業



次の皆さんが、ボランティア作業を行ってくださいました。

○シルバー人材センター

大口小学校区及び本城・南永校区のロードミラー 282本の清掃

○曾木児童クラブ

曾木の滝公園ごみ拾い

地域の美化活動にご協力ありがとうございました。

北薩病院の診療体制が充実



伊佐の中核的医療機関として地域医療を支えてきた県立北薩病院も、地方の医師不足の影響から、昨年19人だった常勤医師数が10人にまで減少していましたが、4月1日から増員され、次のように新たな診療科目等にも対応できるようになりました。

- もの忘れ・認知症外来の開設
(神経内科医師の増員)
- リウマチ・膠原病への対応
(常勤のリウマチ専門医着任)
- 外科の体制強化(常勤医師2人に増員)

「ラグビー ALL 鹿児島」



第3回ラグビー ALL 鹿児島の高校選抜オーストラリア遠征メンバーに選ばれた大口高校ラグビー部員6人とスタッフとして参加した同校の上村洋介教諭が4月5日、市長を表敬訪問しました。

遠征は、鹿児島市と姉妹都市盟約を結んでいるオーストラリアのパスで、3月29日から1週間行われました。6人は現地での様子を、「プロの指導をはじめ現地高校生との試合、本場のスーパーラグビーの試合見学など充実した日々を過ごした」と話しました。

(当時の学年・自治会等)

- 岩元光輝(2年・湧水町) 原田直人(2年・大島南)
- 松元和来(1年・高津原) 栗巢礼二(2年・平出水中央)
- 川畑堅太(1年・駅前) 上園優成(2年・八代)